

総体予選 4・5 回戦結果報告

6月8日(日)

4回戦 高島 71 - 63 昭和

5回戦 高島 46 - 103 帝京

最終結果 東京都ベスト 32

この大会を持って3年生 11人は引退となりました。これまで熱い応援、サポートをしてくださったすべての方々、本当にありがとうございました。

4回戦の対戦相手は秋の新人戦支部大会でベスト4に入り、支部選抜選手2人を要する都立昭和高校。

序盤、高島の気迫が勝り、激しいDFと高確率のアウトサイドシュートで2桁リードを奪います。しかし、その後は地力のある相手にじわじわと点差を詰められ、第4Qついに逆転される苦しい展開となります。ただ、ここから3年生が頼もしかった。決して慌てることなくゴール下で確実に加点して再逆転すると、3P、ミドル、リバウンドショットと多彩な得点で突き放し、ベスト32進出を決めました。

高島の歴代OBたちが築いてきた伝統の力、3年生のプライドが感じられるアツい試合でした。昭和高校は得点力の高いプレイヤーが複数いて、統率の取れた素晴らしいチームでしたが、「この試合、何が何でも勝つんだ!」という高島の選手の気迫が勝利を手繰り寄せた大きな要因だと感じます。辛いこと、苦しいことのほうが多いかもしれない日々の部活動も、この瞬間のためにやってきてよかったと思えるような素晴らしいゲームでした。

5回戦は対戦相手は第7シードであり東京トップチームの帝京高校。

立ち上がり先攻するものの、その後は相手の走力、シュート力に対応できず点差を広げられてしまい大差での敗戦となってしまいました。

悔しい敗戦となってしまったものの、ベスト32に入ったからこそ体感できた「東京トップチームの力」、「ダブルヘッダーを戦い抜く厳しさ」はこのチームが今後ステップアップする上での大きな指針となります。私立強豪校にどのように挑んでいくのか、本気で勝ちに行くためには何が必要なのか。チーム全員で考え、実践することが出来れば必ず道は開けると信じています。

この試合を持って3年生 11人が引退となりました。

決して順風満帆ではなかった高島での高校バスケットだったかもしれませんが、途中で投げ出すことなく、いくつもの逆境も乗り越えた3年生たちは大きく成長し、最後の総体予選では本当に頼もしく感じました。

彼らの頑張りめでアツいゲームを勝ち切る大きな喜び、私学強豪校に挑む経験とそこから得られたこのチームの目指すべき指針、多くのことを感じる事が出来ました。また、今大会東京都ベスト32に入れたことで新チーム最初の高体連の公式戦である新人戦第4支部大会ではシード権を得ることも出来ました。

3年生の築いてくれたSilver Bulletsの伝統を継承・発展させ、より魅力的なチームになるべく新チームでもバスケットボールに真摯に向き合っていきます。

最後にアツいパッションでチームを引っ張り、Silver Bulletsの「魂」を体現してくれた3年生 11人の今後が、幸多きことを願っています。